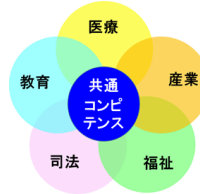


一般社団法人公認心理師の会 共通コンピテンス

公認心理師の先生方へ

公認心理師の会では、主要5分野それぞれにおける公認心理師に必要なコンピテンスリストを公開します。コンピテンスの中には、主要5分野を横断して必要な基礎的なものがあり、これを5分野共通コンピテンス（以下共通コンピテンスと略）と呼びます。

共通コンピテンスのイメージ



公認心理師の会では、公認心理師の共通コンピテンスを下の表のようにまとめました。共通コンピテンスは、公認心理師法や公認心理師養成カリキュラムなどで大枠が定められています。下の共通コンピテンスの中で、公認心理師の会がとくに重要と考えるものを黄色で示してあります。当会の理念を知っていただき、資質の向上に役立てていただくために公表いたしました。なお、当会はコンピテンスリストにもとづいた専門資格制度を構築しつつあり、これについては後日公開します。

表 公認心理師の共通コンピテンス

大項目	中項目
公認心理師の職責と倫理を理解して実践できる	法の理解と遵守、公認心理師法の理解と法的義務(信用失墜行為の禁止、秘密保持義務、連携の義務等)、情報の適切な扱い
	要支援者の主体性と尊厳の尊重、個性の尊重、多様性の尊重(ジェンダー、年齢、民族、国籍、障害など)
	多職種連携(チーム活動)、地域連携
	資質向上の責務、技能の向上、生涯学習、心理職としての成長
科学者-実践家モデルおよびエビデンスにもとづいた実践ができる	科学的な態度(自らの実践への根拠に基づいた批判的態度)、基礎的心理学の知見の理解と実践への適用
	生物心理社会モデルによる統合的理解と実践
	エビデンスの参照、利用、構築、普及
	研究活動
心理的アセスメントとケースフォーミュレーションを適切に実施できる	事例に対するケースフォーミュレーション
	アセスメントツールの利点と限界を理解した適切な実施
	アセスメント結果の適切なフィードバック
心理的介入を適切に実施できる	ケースフォーミュレーションにもとづく介入方針の決定
	エビデンスや治療ガイドライン等を参照した介入方針の決定
	アセスメントにもとづく介入の適切な実施、評価、再アセスメント
	コミュニケーション(共同意思決定を推進する能力、インフォームド・コンセント、説明責任)、危機介入、自殺予防
ケースマネジメント、および関係機関との連携が適切に実施できる	包括的(地域生活支援)視点でのアセスメント、多職種連携、地域・他機関との連携、リファー、公的扶助や地域福祉支援活用の提案、リスクマネジメント
関係者への支援を適切に実施できる	家族等関係者への支援、家族等関係者や介入スタッフへの説明責任、他の専門職や関係者へのコンサルテーション
心の健康教育を適切に実施できる	心の健康教育の企画、立案、実施、評価

黄色部分は公認心理師の会がとくに重視するコンピテンス